

学生の学会・ワークショップの口頭、ポスター発表

1. 山崎敦夫、岩崎杉紀、ハイパースペクトルセンサを用いた地表のバッタの検出実験、第39回個体群生態学会大会、札幌、2023年10月28-29日。
2. Yamazaki, A., and **S. Iwasaki**, Detection of a swarm of migratory locusts by a space-borne hyperspectral sensor, Japan Geoscience Union Meeting 2023, online, May 25, 2023.
3. 山崎敦夫、岩崎杉紀、衛星搭載ハイパースペクトルセンサを用いたバッタの検出、日本リモートセンシング学会第73回学術講演会、三重県、2022年11月29-30日。
4. 山崎敦夫、岩崎杉紀、ハイパースペクトルセンサによるトノサマバッタの地表被覆率推定、個体群生態学会第38回大会、オンライン、2022年10月1-2日。
5. 山崎敦夫、岩崎杉紀、ハイパースペクトルセンサを用いてバッタを検出するためのスペクトル類似度の評価手法の比較、2022年度 科学データへの統計・数理手法適用に関するワークショップ、立川、2022年9月22日。
6. 山崎敦夫、岩崎杉紀、ハイパースペクトルカメラを用いたトノサマバッタの分光反射率の計測、第66回日本応用動物昆虫学会大会、2022年3月21日。
7. 山口智子、岩崎杉紀、気象衛星ひまわり8号を用いたJumping Cirrusの雲微物理量の推定、エアロゾル・雲・降水の相互作用に関する研究集会、2021年2月15日、オンライン開催。
8. 山口智子、岩崎杉紀、気象衛星ひまわり8号で発見したJumping Cirrusの形態特徴、日本気象学会2020年秋季大会、オンライン開催。
9. 山口智子、瀬口貴文、岩崎杉紀、気象衛星ひまわり8号によるAbove-Anvil Cirrus Plumeの形態の特徴、日本気象学会2020年春季大会、予稿集発行のみ。
10. Seguchi, T., **S. Iwasaki**, M. Kamogawa, T. Ushiyama, and H. Okamoto: The Characteristics of Jumping Cirrus at the Top of Deep Convective Clouds. WCRP/SPARC SATIO-TCS Joint Workshop on Stratosphere-Troposphere Dynamical Coupling in the Tropics, Kyoto, Japan, Kyoto University, 22 Feb. 2020.
11. 瀬口貴文、岩崎杉紀、鴨川仁、牛山朋来、岡本創、Xバンドレーダーを用いた積乱雲とJumping Cirrusの発達過程の観測、日本気象学会2019年度秋季大会、福岡、2019年10月31日。
12. Seguchi, T., **S. Iwasaki**, M. Kamogawa, T. Ushiyama, and H. Okamoto, An Observational Study of Jumping Cirrus with Ground-based Visible Camera and X-band Radar. 39th International Conference on Radar Meteorology, Nara, 17 Sep. 2019.
13. Seguchi, T., **S. Iwasaki**, M. Kamogawa, T. Ushiyama, and H. Okamoto, An Observational Study of Jumping Cirrus with Ground-based Visible Cameras, 27th International Union of Geodesy and Geophysics General Assembly, Canada, 09 July 2019.
14. 瀬口貴文、岩崎杉紀、鴨川仁、牛山朋来、岡本創、地上可視カメラ、ひまわり8号、ラジオゾンデを用いたJumping Cirrusの観測的研究、日本気象学会2019年度春季大会、東京、2019年5月15日。
15. 瀬口貴文、岩崎杉紀、鴨川仁、牛山朋来、岡本創、地上可視カメラ、ひまわり8号、ラジオゾンデを用いたJumping Cirrusの発達過程の観測、認定NPO法人富士山測候所を活用する会第12回研究報告会、東京、2019年3月11日。
16. 瀬口貴文、岩崎杉紀、鴨川仁、牛山朋来、岡本創、地上可視カメラによるJumping Cirrusの発達過程の観測とひまわり8号・ラジオゾンデ・Cバンドレーダーを用いた解析、第44回リモートセンシングシンポジウム、千葉、2019年3月8日。
17. Asai, A., and **S. Iwasaki**, Increase of the amount of phytoplankton due to volcanic ash deposition in the low-nutrient low-chlorophyll areas, The 6th Asian / 15th Korea-Japan workshop on ocean color 2018, Yokohama, Dec., 2018.
18. 瀬口貴文、岩崎杉紀、鴨川仁、岡本創、石元裕史、牛山朋来、Jumping Cirrusの

地上観測と衛星・ラジオゾンデ・地上レーダーによる定量的解析、日本気象学会
秋季大会、仙台、2018年10月29日。

19. 浅井俊太、**岩崎杉紀**、気象衛星ひまわり8号を用いた西之島周辺海域における火山灰沈着に対する植物プランクトンの増殖変化特徴、日本海洋学会秋季大会、東京、2018年9月26日。
20. 浅井俊太、**岩崎杉紀**、気象衛星ひまわり8号を用いた火山噴火による海洋における植物プランクトンの増殖変化特徴、日本地球惑星科学連合2018年大会、幕張市、2018年5月22日。
21. 瀬口貴文、**岩崎杉紀**、鴨川仁、岡本創、石元裕史、牛山朋來、積乱雲の雲頂から飛び上がる巻雲: Jumping Cirrus の観測と定量的解析による特徴、日本気象学会春季大会、つくば市、2018年5月17日。
22. 瀬口貴文、**岩崎杉紀**、Jumping Cirrus の可視カメラによる撮影とラジオゾンデ及びひまわり8号のデータによる定量的解析、第43回リモートセンシングシンポジウム、東京、2018年3月9日。
23. 瀬口貴文、浅井俊太、**岩崎杉紀**、鴨川仁、久保田尚之、岡本創、石元裕史、牛山朋來、積乱雲の雲頂から飛び上がる雲; Jumping Cirrus の観測、日本気象学会秋季大会、札幌、2017年10月。
24. 浅井俊太、瀬口貴文、**岩崎杉紀**、気象衛星ひまわり8号を用いたエアロゾルとクロロフィル濃度の関係、日本気象学会秋季大会、札幌、2017年10月。
25. 清水治、**岩崎杉紀**、空気潤滑装置を用いた利益の出るジオエンジニアリング、第41回リモートセンシングシンポジウム、東京、2016年2月22日。部会奨励賞受賞。
26. 清水治、**岩崎杉紀**、空気潤滑法による航跡の反射率測定、日本海洋学会春季大会、東京、2015年3月。
27. 清水治、**岩崎杉紀**、空気潤滑法により拡張された航跡観測、第40回リモートセンシングシンポジウム、東京、2015年3月。
28. 清水治、**岩崎杉紀**、空気潤滑法による泡の反射率の測定、日本気象学会秋季大会、福岡、2014年10月。
29. 土居七奈美、瀬口貴文、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される泡によるジオエンジニアリングの効果、日本気象学会春季大会、横浜、2014年5月。
30. 柴田政明、**岩崎杉紀**、Aquarius と Argo float による海表面塩分と 10dbar 塩分の比較、第21回リモートセンシングフォーラム、東京、2014年2月。
31. 重丸太一、谷口慶太、**岩崎杉紀**、一眼レフカメラを用いた分光輝度測定、第21回リモートセンシングフォーラム、東京、2014年2月。
32. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される泡のジオエンジニアリングの可能性、第21回リモートセンシングフォーラム、東京、2014年2月。(GRSS-Japan 若手奨励賞)
33. Kitagawa, K., M. Nakanishi, and **S. Iwasaki**, Roles of tropical overshooting convection in variation of stratospheric water vapor: A numerical study using the WRF Model, American Geophysical Union Fall meeting, San Francisco, CA, USA, December 2013.
34. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法による泡を用いた地球温暖化対策、平成25年度日本船舶海洋理工学会秋季大会、大阪、2013年11月。
35. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される泡を用いた海面のアルベドの変化、第39回リモートセンシングシンポジウム、東京、2013年11月。
36. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される水中の泡とアルベドの関係について、仙台、2013年11月。
37. 北川裕也、中西幹郎、**岩崎杉紀**、熱帯域の深い対流に伴うオーバーシュートの再現と下部成層圏水蒸気量変化への影響、日本気象学会秋季大会、仙台、2013年11月。
38. 柴田政明、**岩崎杉紀**、Aquarius と Argo による海面塩分と蒸発降水の関係、日本海洋学会春季大会、札幌、2013年9月。
39. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される泡の光の反射率について、日本気象学会春季大会、東京、2013年5月。

40. 北川裕也、中西幹郎、**岩崎杉紀**、深い対流で起こるオーバーシュートの再現実験 日本気象学会春季大会、東京、2013年5月。
41. 柴田政明、**岩崎杉紀**、AquariusとArgoを用いた海洋上部の塩分濃度比較、日本海洋学会春季大会、東京、2013年3月。
42. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される泡と航跡の光散乱特性、第20回リモートセンシングフォーラム、東京、2013年3月。
43. 柴田政明、**岩崎杉紀**、AquariusとArgoによる海面塩分濃度の比較、第20回リモートセンシングフォーラム、東京、2013年3月。
44. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される泡のジオエンジニアリング、平成24年度日本船舶海洋工学会秋季大会、千葉、2012年11月。(ポスターセッション優秀賞受賞)
45. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される泡の光散乱特性、第38回リモートセンシングシンポジウム、東京、2012年11月。
46. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、マイクロバブルの光散乱特性、日本気象学会秋季大会、札幌、2012年10月。
47. 柴田政明、荒船真澄、土居七奈美、**岩崎杉紀**、MODISによるメキシコ湾の原油流出範囲の解析、海洋理工学会春季大会、東京、2012年5月。
48. 土居七奈美、柴田政明、**岩崎杉紀**、潮位の長期的変動と特徴、海洋理工学会春季大会、東京、2012年5月。
49. 荒船真澄、メキシコ湾原油流出事故とリモートセンシング、第19回リモートセンシングフォーラム、東京、2012年3月。
50. 藤山隆、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、植生とマイクロ波温度の関係、第18回リモートセンシングフォーラム、千葉、2011年3月。
51. 瀬口貴文、吉田数馬、矢野琢也、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、地球観測衛星「CALIPSO」及び「CloudSat」による雲観測とオーバーシュートの分析、第18回リモートセンシングフォーラム、千葉、2011年3月。
52. 藤山隆、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、天候の変化と森林内マイクロ波温度の関係、第36回リモートセンシングシンポジウム、横須賀、2010年11月。
53. 藤山隆、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、各種植生でのマイクロ波輝度温度の変化について、日本気象学会秋季大会、京都、2010年10月。
54. 藤山隆、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、降雨に伴う土壌水分量の変化とマイクロ波温度の関係、日本気象学会春季大会、東京、2010年5月。
55. 藤山隆、長崎文俊、清水治、政光亜由美、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、降雨に伴う土壌水分量の変化とマイクロ波温度の関係、第17回リモートセンシングフォーラム、東京、2010年3月。
56. 児玉孟、野小生敦、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、光の低周波刺激に対する金魚の反応、日本気象学会秋季大会、福岡、2009年10月。
57. 北川裕也、児玉孟、吉田雄一、バルネス・マハルディカ、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、ツバル海面上昇時の海中の構造 — 潮位とアルゴフロートデータの関係、第16回リモートセンシングフォーラム、東京、2009年3月。
58. 児玉孟、北川裕也、吉田雄一、バルネス・マハルディカ、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、低周波光による生体反応の定量化、第16回リモートセンシングフォーラム、東京、2009年3月。
59. Mahardika, B., **S. Iwasaki**, and Y. Sasaki, Leaf and Branch Gamma Ray Emission in Vegetation Tree Canopy Observatio, 日本気象学会秋季大会、仙台、2008年11月。
60. Nakashima, Y., B. Mahardhika, **S. Iwasaki**, Y. Sasaki, Optical reflectance by the acoustic field of an underwater intermittent burst pulse, 海洋音響学会2008年度研究発表会、東京、2008年5月。
61. 中元次朗、大橋正典、野小生 敦、讃岐暢仁、佐々木保徳、**岩崎杉紀**、CALIPSOによる雲の出現頻度の解析、第15回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2007年2月。
62. 大橋正典、讃岐暢仁、野小生 敦、中元次朗、佐々木保徳、**岩崎杉紀**、迷彩服の有効性の検証、第15回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2007年2月。

- 月。
63. 野小生 敦、大橋正典、讃岐暢仁、中元次朗、佐々木保徳、**岩崎杉紀**、低周波光刺激に対する生体の反応、第 15 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2007 年 2 月。
 64. 讃岐暢仁、野小生 敦、中元次朗、大橋正典、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、樹木層内における放射伝搬、第 15 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2007 年 2 月。
 65. Nakashima, Y., **S. Iwasaki**, B. Mahardhika and Y. Sasaki, Characteristics of light reflection by sound field of intermittent burst pulse underwater, The 28th Symposium on UltraSonic Electronics, November 2007, Tsukuba.
 66. 中島康裕、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、光学式ソナーの理論、海洋音響学会研究発表会、東京工業大学、2007 年 5 月。
 67. 阿部哲也、大谷悠仁、佐々木康光、高橋雄飛、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、有明海の環境変動から見た海苔収量の長期経年変化、第 14 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2007 年 3 月。
 68. 高橋雄飛、阿部哲也、大谷悠仁、佐々木康光、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、ツバルの海面上昇と周辺の気象との関係、第 14 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2007 年 3 月。
 69. 大谷悠仁、阿部哲也、佐々木康光、高橋雄飛、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、樹木層内における放射伝搬及び収支と葉量との関係、第 14 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2007 年 3 月。
 70. 中島康裕、**岩崎杉紀**、松井一郎、清水厚、杉本伸夫、塩谷雅人、キリバスに設置したライダーによる Subvisual Cirrus Cloud の初期解析、日本気象学会秋季大会、名古屋、2006 年 10 月。
 71. 藤山 隆、服部英一郎、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、樹木層内における放射伝搬 ケーススタディー I: 常緑樹層内での伝搬、第 13 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2006 年 2 月。
 72. 服部英一郎、藤山 隆、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、樹木層内における放射伝搬 ケーススタディー II: 落葉樹層内での伝搬、第 13 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2006 年 2 月。
 73. 中島健介、早川正紘、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、小山 登、マイクロ波放射計による北極圏の観測、第 12 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2005 年 2 月。
 74. 早川正紘、中島健介、**岩崎杉紀**、佐々木保徳、レーダーにおける電磁波環境調査、第 12 回リモートセンシングフォーラム、東京農業大学、2005 年 2 月。

学生の受賞

1. 清水治、**岩崎杉紀**、部会奨励賞受賞(第 41 回リモートセンシングシンポジウム)、2016 年 2 月。
2. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、空気潤滑法で生成される泡のジオエンジニアリングの可能性、第 7 回 GRSS-Japan 若手奨励賞(第 21 回リモートセンシングフォーラム)、2014 年 2 月。
3. 土居七奈美、**岩崎杉紀**、ポスターセッション優秀賞(日本船舶海洋工学会秋季講演会)、2012 年 11 月。